



 アース不要
の二重絶縁

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 4C5

1 609 92A 4C5 (2018.06)

ホットエアガン (熱風機) GHG 23-66 型

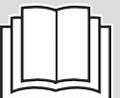
 **BOSCH**

取扱説明書

このたびは、弊社ホットエアガンをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
電動工具全般についての注意事項	2
ホットエアガンについての注意事項	8
●本製品について	
用途	13
各部の名称	14
仕様	15
●使い方	
作業前の準備をする	16
作業する	17
別売アクセサリーを使う	30
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	35
修理を依頼するときは	36
●お手入れと保管	
クリーニング	37
保管	37

ご安全
注上
意の

つ本
製
い
品
てに

使

い

方

困
っ
た
と
き
は

保
お
手
入
れ
と
管

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになされた後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたホットエアガンには、当てはまらない項目も含まれていません。

警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはめれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。

- ◆ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

ご安全
注意の

8. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



9. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。

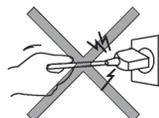
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ◆ 電動工具に集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

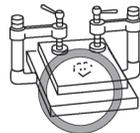
12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

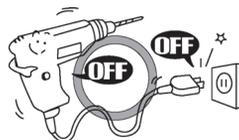


15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



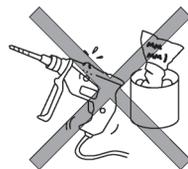
21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。



22. 異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。

そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 など

23. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

24. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。

修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ご安全
注意の

ホットエアガンについての注意事項

ご安全上の注意の

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、ホットエアガンをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警告

1. 作業の条件・内容を考慮して、目的に合った用具を用意し、アクセサリーを選定してください。
 - ◆ 目的に合っていない用具の使用は、事故やけがの原因になります。
2. 必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
 - ◆ 表示以外の電圧で使用すると、事故の原因になります。
3. 取扱説明書に記載されている用途以外、または能力以上の作業には、絶対に使用しないでください。
 - ◆ 使用すると、発煙・発火の原因になります。
4. この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリー以外は使用しないでください。
 - ◆ 指定されたアクセサリー以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
5. 使用に問題がないことを確認してください。
取り付けは間違いがないか、各部品に損傷はないか、その他問題はないかチェックしてください。損傷などがあった場合は使用せず、修理をご依頼ください。
 - ◆ 多くの事故は、点検作業を怠ったときに起きています。
 - ◆ 損傷した工具を使用すると、故障や思わぬ事故の原因になります。
6. 子供や補助を必要とする人、及び操作の知識がない人には、使用させないでください。
 - ◆ 使用させると、けがや事故の原因になります。
 - ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

7. 使用するときは、保護手袋を着用し、高温のノズルには触れないでください。
 - ◆ 保護手袋を着用しないで使用したり、高温のノズルに触れると、やけどを負う恐れがあります。
8. ヘアドライヤーとしては絶対に使用しないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
9. 人や動物に直接熱風を当てないでください。
 - ◆ 事故ややけどの原因になります。
10. 可燃性物質の近くや爆発の危険がある場所で使用しないでください。
 - ◆ ホットエアガンは強い熱を吹き出しますので、火災や爆発の恐れがあります。
11. 雨中での作業は行わないでください。また、ホットエアガンを雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。
 - ◆ ホットエアガン本体に水が浸入すると、感電の恐れがあります。
12. やむを得ず、湿気が多い場所で使用する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
13. 点検や整備、アクセサリーの交換をするとき、またはホットエアガンを置くときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ◆ 電源プラグを差したままにして不意に作動すると、感電や事故の原因になります。
14. 使用中にホットエアガン本体の調子が悪くなったり、異常音が生じたりしたときは、直ちに「メインスイッチ」を“切”にしてください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

15. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、ホットエアガン本体や熱風放出ノズルなどに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
16. 高所の作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、電源コードを引っ掛けたりしないでください。
 - ◆ 材料やホットエアガン本体などを落としたとき、事故の原因になります。
17. 熱風を同じ場所に長時間当てることは、絶対にしないでください。また、作業場の換気を良くしてください。
 - ◆ 塗料をはがしたり、プラスチックを加工したりする場合、有毒ガスが発生することがあります。使用中に発生するガスや蒸気は、健康に有害です。
 - ◆ 熱風が直接当たらなくても、隠れた材料に熱が伝わって発火する恐れがあります。
18. ノズルと材料の距離は、作業している材料（金属、プラスチックなど）と目的の作業方法によって異なります。作業する前に試し加工などをし、風量と温度を設定してください。
19. ホットエアガンを作動させたまま目を離したり、その場を離れたりしないでください。
 - ◆ 熱風を吹き出させたまま、台や床などに放置すると、けがや事故、故障の原因になります。
20. 異物がホットエアガンの中に入らないようにしてください。
 - ◆ 事故や故障の原因になります。
21. 電源コードを持って運んだり、電源コードを引っ張って電源コンセントから電源プラグを抜いたりしないでください。
 - ◆ 電源コードが損傷し、故障の原因になります。
 - ◆ 電源コードが損傷した場合は、直ちに作業を中止し、修理に出してください。

22. 電源コードは乱暴に扱わないでください。また、熱、油、鋭いエッジまたは可動部分から離してください。
- ◆ 電源コードが損傷したりもつれたりすると、感電の恐れがあります。
23. 電源コードが損傷した場合は、絶対に使用しないでください。また、損傷したコードには絶対に触れないでください。もし作業中にコードを損傷した場合は、直ちに「メインスイッチ」を“切”にし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 破損した電源コードは感電の恐れがあります。
24. 使用しないときは、子供などの手の届かない安全な場所に保管してください。
- ◆ 操作に関する教育を受けていない人の使用は大変危険です。
25. 使用するたびに、ホットエアガン本体、電源コード、電源プラグを点検してください。損傷が確認された場合は、ホットエアガンを使用せず修理を依頼してください。
- ◆ ホットエアガン本体、電源コード、電源プラグの損傷は、感電の危険性を高めます。



注 意

1. 先端ノズルや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 作業中や作業直後の熱風放出ノズルや材料は、大変熱くなっていますので、触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
3. 作業後、ホットエアガン本体を置くときは、立て置き接地面を下にしてまっすぐに立ててください。
 - ◆ ノズルが熱くなっているため、事故の原因になります。
4. 使用するときには、絶対に熱風をさえぎらないでください。
 - ◆ 本体加熱による、事故の原因になります。
5. 先端ノズルの交換は、熱風放出ノズルや先端ノズルが冷えてから行ってください。
 - ◆ やけどの原因になります。
6. ホットエアガンを収納するときは、ホットエアガン本体が完全に冷えたことを確認してください。
 - ◆ ノズルは大変熱くなっています。熱いまま収納すると、故障や事故の原因になります。

本製品について

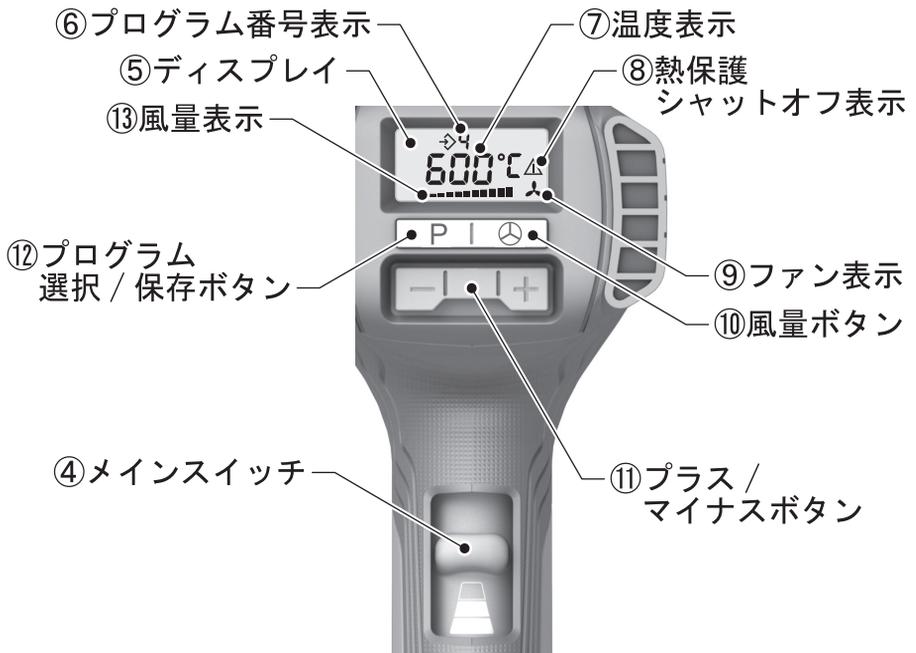
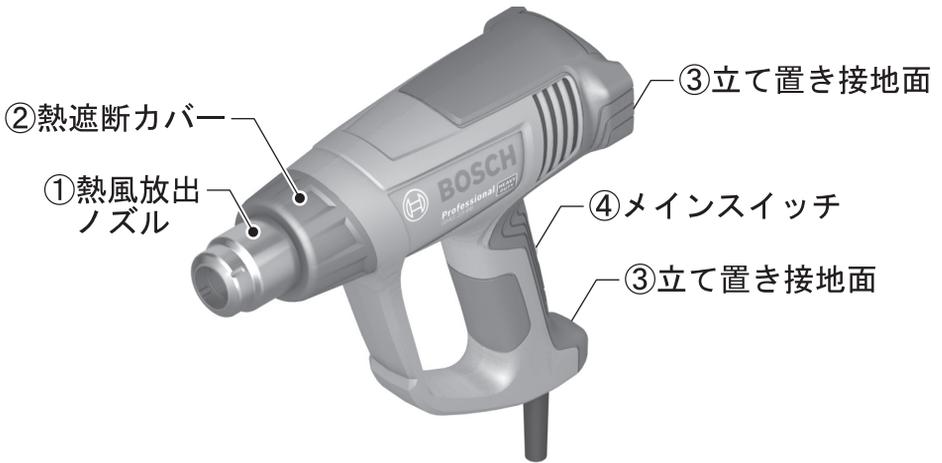
用 途

- ◆ 各種コーキング剤や接着剤のはく離や溶解整形
- ◆ 樹脂系塗料のはく離や熱硬化性塗料の仕上げ、部分補修
- ◆ カーペット、ビニール、ステッカーのはく離
- ◆ 成形加工モールド時の気泡除去
- ◆ あらゆる樹脂板の曲げ加工、変形、伸ばし、ひねり加工
- ◆ 塩ビパイプなどの膨張接続、変形、接着剤はく離、補修
- ◆ 金属薄板や管継手のはんだ溶接補修
- ◆ 凍結した水道管の解氷、その他霜取り
- ◆ 熱収縮性電気絶縁材の接続部密着
- ◆ 湿った材料の乾燥、木材表面の焼き焦がし加工
- ◆ 木材等の表面のワックス塗りを均等に行う
- ◆ 木材のヤニ取り
- ◆ 自動車の塗装下地の熱硬化（熱硬化性パテなど）
- ◆ 修理時のギア、ベアリングの抜き取り分解作業
- ◆ 自動車のアンダーコートのはく離
- ◆ 冷凍食品の解凍、滅菌消毒
- ◆ ホットメルト系接着剤のはく離

本
製
品
に
つ
い
て

各部の名称

本
製
品
に



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

型 番	GHG 23-66
電 源	AC100V, 50-60Hz
最大消費電力	1300W
風 量	100~350L/分 (0.1~0.35m ³ /分)
温 度* ¹	50~600°C (調整可能)
温度測定精度	
ノズル出口	±10%
ディスプレイ	±5%
ディスプレイ作動温度* ²	0~+50°C
質量(アクセサリ除く)	0.67kg
原産国	ルーマニア

*1 作業場周囲の温度が約 20°C のとき。

*2 作動温度範囲外では、ディスプレイ⑤は黒くなります。

つ本
製
い品
てに

使い方

作業前の準備をする



警告

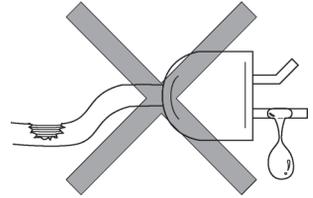
- ◆ 作業前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



使
い
方

● 使用電源を点検する

- 単相 AC100V (50-60Hz) か？
- 電源コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか？



作業する

作業を始める前に、「作業する」（17 ページから 29 ページ）をお読みになり、作業の流れを理解してください。

本製品は電源を入れると、熱風放出ノズル①から熱風が吹き出ます。

作業の流れを理解してから作業すると、けがや事故の危険が低減されます。



警告

- ◆ 必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
- ◆ 「メインスイッチ④」が“切 (0)”になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
- ◆ 作業するときは、常に換気をしてください。材料によっては、有毒ガスを発生することがあります。
- ◆ プログラム番号を選択したり、温度や風量を調節したりするときは、熱風が人や動物、周りの物に当たらないよう、熱風放出ノズル①の向きに注意してください。
- ◆ 熱風を同じ場所に長時間当てないでください。
- ◆ ノズルと材料の距離は、作業している材料（金属、プラスチックなど）と目的の作業方法によって異なります。作業する前に試し加工などをして設定してください。

使
い
方



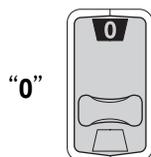
注意

- ◆ 作業中、材料とノズルを近づけすぎないでください。ホットエアガン本体が過熱する恐れがあります。

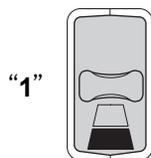


本機は、金属の表面を腐食から保護するため、表面をコーティングしてあります。熱を加えるとコーティングが蒸発するため、使い始めに煙が発生することがあります。

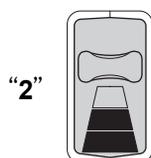
● メインスイッチの操作



電源 “切”



温度：50℃（固定）
風量：100～200L/分（調節可）



温度：50℃～600℃（調節可）
風量：100～350L/分（調節可）

使
い
方

● 「メインスイッチ④」を“1”にして作業する

「メインスイッチ④」“1”は、加熱された材料の冷却や塗料の乾燥に適しています。

また、ホットエアガン本体やノズルの冷却にも適しています。

「メインスイッチ④」を“1”にしたときは、風量のみ調節できます。

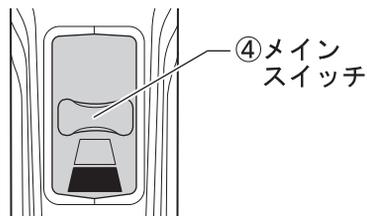
 温度の変更はできません。

“1”では、温度が50℃に固定されています。

1. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. 「メインスイッチ④」を“1”の位置にします。

熱風放出ノズル①から熱風が吹き出ます。



3. 風量を調節する場合は、「風量ボタン⑩」を押した後、「プラス/マイナスボタン⑪」で風量を調節します。

風量は 10 段階で調節できます。ボタンの“+”側を押すと風量が多くなり、“-”側を押すと風量が少なくなります。

「プラス/マイナスボタン⑪」で調節している間、風量表示⑬の目盛が減ったり、増えたりします。

風量を調節している間、ファン表示⑨が点滅します。

「プラス/マイナスボタン⑪」を押し終え、風量が安定するとファン表示⑨が連続点灯になります。

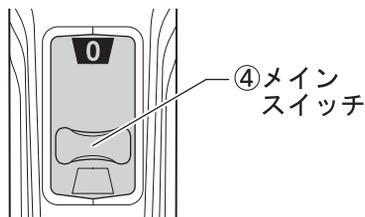


4. 作業を始めます。



- ◆ 熱風を同じ場所に長時間当てないでください。
- ◆ ノズルと材料の距離は、作業している材料（金属、プラスチックなど）と目的の作業方法によって異なります。作業する前に試し加工をしてください。

5. 作業を終わらせます。
「メインスイッチ④」を“0”の位置にします。



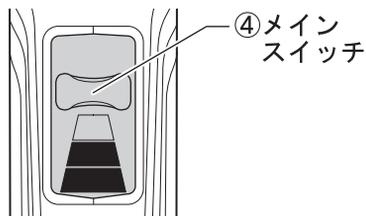
 作業終了後の熱風放出ノズル①は大変熱くなっていますので、触らないでください。

● プログラムを使用して作業する

- ☞ プログラム番号 1~4 は工場出荷時に設定されていますが、任意の温度および風量に設定し直すことができます。
温度と風量の設定はいつでも変更できます。
(22 ページ「プログラムの設定」参照)

1. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. 「メインスイッチ④」を“2”の位置にします。
熱風放出ノズル①から熱風が吹き出ます。



3. プログラム番号表示⑥に選択したいプログラムの番号が表示されるまで「プログラム選択/保存ボタン⑫」を繰り返し押します。

表示なし → 1 → 2 → 3 → 4

⑫ プログラム選択 / 保存ボタン
⑥ プログラム番号表示



4. 選択したプログラム番号に設定されている温度と風量になったことを、ディスプレイ⑤で確認します。



- ☞ 温度表示⑦には現在の温度が表示され、設定温度に向けて温度が高くまたは低くなっている間、“°C”の表示は点滅します。設定温度に達すると“°C”の表示が連続点灯になります。

- ☞ 外気温などの影響により、選択したプログラム番号に設定された温度になるまで1分ほどかかることがあります。

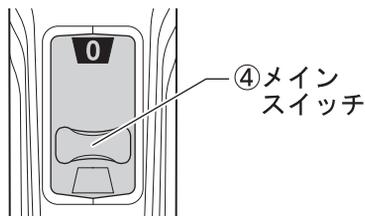
5. 作業を始めます。



警告

- ◆ 熱風を同じ場所に長時間当てないでください。
- ◆ ノズルと材料の距離は、作業している材料（金属、プラスチックなど）と目的の作業方法によって異なります。作業する前に試し加工をしてください。

6. 作業を終わらせます。
「メインスイッチ④」を“0”の位置にします。



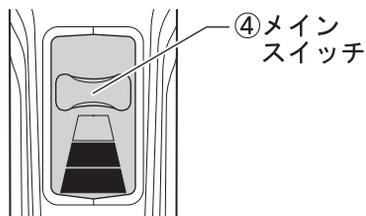
- ☞ 高温で長時間作業したときは、電源を切る前に、「メインスイッチ④」を“1”にして、ホットエアガン本体を冷やしてください。
- ☞ 作業終了後の熱風放出ノズル①は大変熱くなっていますので、触らないでください。

プログラムの設定を変更する

プログラム番号 1~4 は、任意の温度および風量に設定できます。
温度と風量の設定はいつでも変更できます。

1. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. 「メインスイッチ④」を「2」の位置にします。
熱風放出ノズル①から熱風が吹き出ます。



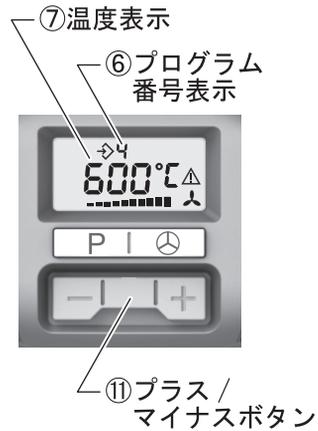
3. プログラム番号表示⑥に設定を変更したいプログラムの番号が表示されるまで、「プログラム選択/保存ボタン⑫」を繰り返し押しします。

表示なし → 1 → 2 → 3 → 4



4. 登録したい温度が「温度表示⑦」に表示されるまで「プラス/マイナスボタン⑪」を押します。

「プラス/マイナスボタン⑪」を押して温度を変更し始めると、“°C”の表示が点滅します。また、プログラム番号表示⑥の左横に「↔」が点滅表示されます。



温度は、ボタンの“+”側を押すとが高くなり、“-”側を押すと低くなります。

「プラス/マイナスボタン⑪」は、短く押すと、押す度に温度が 10°C 高くまたは低くなり、押し続けると、押し続けている間、温度が 10°C ずつ高くまたは低くなり続けます。

温度表示⑦に登録したい温度が表示され、「プラス/マイナスボタン⑪」を押し終わると、設定した温度が約 3 秒間表示されたままになります。その後現在の温度が表示され、設定した温度に達すると“°C”は連続点灯になります。

「↔」は点滅のままです。

 設定した温度が現在の温度より低い場合、設定した温度に下がるまでに時間が掛かります。

5. 「風量ボタン⑩」を押します。
ファン表示⑨が点滅します。



6. 「プラス/マイナスボタン⑪」を押して、風量を設定します。
風量は 10 段階で設定できます。
ボタンの“+”側を押すと風量が多くなり、“-”側を押すと風量が少なくなります。



「プラス/マイナスボタン⑪」で調節している間、風量表示⑬の目盛が減ったり、増えたりします。

「プラス/マイナスボタン⑪」を押し終え、風量が安定するとファン表示⑨は連続点灯になります。

7. 設定が終了したら、プログラム番号表示⑥の左横に点滅表示されている「⇄」記号が連続点灯になるまで「プログラム選択/保存ボタン⑫」を押し続けます。



8. 「⇄」記号が連続点灯になったことを確認し、「プログラム選択/保存ボタン⑫」から指を放します。
「プログラム選択/保存ボタン⑫」から指を放すと、「⇄」記号が消えます。

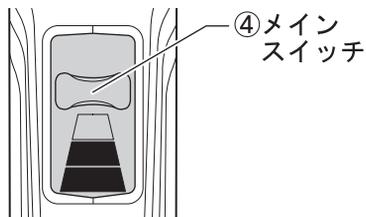
☞ 「プログラム選択/保存ボタン⑫」押しして保存しないと、電源を切ったときや他のプログラム番号を選択したときに、設定が失われます。

● 温度と風量を都度設定して作業する

作業の度に、温度と風量を設定して作業することができます。

1. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. 「メインスイッチ④」を“2”の位置にします。
熱風放出ノズル①から熱風が吹き出ます。



3. プログラム番号表示⑥にプログラムの番号が表示されなくなるまで「プログラム選択/保存ボタン⑫」を繰り返し押します。

 ディスプレイ⑤には最後に都度設定した温度・風量が表示されます。

表示なし → 1 → 2 → 3 → 4

⑫プログラム選択 / 保存ボタン
⑥プログラム番号表示



使
い
方

4. 「プラス/マイナスボタン⑪」を押して、温度を設定します。
「プラス/マイナスボタン⑪」を押して温度を変更し始めると、“°C”の表示が点滅します。

温度は、ボタンの“+”側を押すと高くなり、“-”側を押すと低くなります。

「プラス/マイナスボタン⑪」は短く押すと、押す度に温度が10°C高くまたは低くなり、押し続けると、押し続けている間、温度が10°Cずつ高くまたは低くなり続けます。

任意の温度に設定し、「プラス/マイナスボタン⑪」を押し終わると、設定した温度が約3秒間表示されたままになります。その後現在の温度が表示され、設定した温度に達するまで“°C”の表示は点滅し続け、設定温度に達すると、連続点灯になります。

☞ 設定した温度が現在の温度より低い場合、設定した温度に下がるまでに時間が掛かります。

5. 「風量ボタン⑩」を押します。
ファン表示⑨が点滅します。



6. 「プラス/マイナスボタン⑪」を押して、風量を設定します。
風量は 10 段階で設定できます。
ボタンの“+”側を押すと風量が多くなり、“-”側を押すと風量が少なくなります。



「プラス/マイナスボタン⑪」で調節している間、風量表示⑬の目盛が減ったり、増えていきます。

「プラス/マイナスボタン⑪」を押し終え、風量が安定するとファン表示⑨は連続点灯になります。

7. 温度表示⑦に表示されている温度が、設定した温度になっていることを確認します。



☞ 設定温度に向けて温度が高くまたは低くなっている間“°C”の表示は点滅しています。設定した温度に達すると“°C”の表示が連続点灯になります。

☞ 外気温などの影響により、設定した温度になるまで1分ほどかかることがあります。

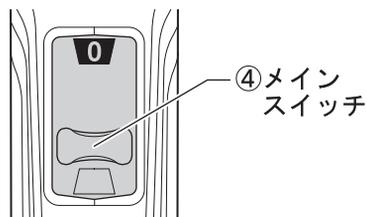
8. 作業を始めます。



警告

- ◆ 熱風を同じ場所に長時間当てないでください。
- ◆ ノズルと材料の距離は、作業している材料（金属、プラスチックなど）と目的の作業方法によって異なります。作業する前に試し加工をしてください。

9. 作業を終わらせます。
「メインスイッチ④」を“0”の位置にします。



- ☞ 高温で長時間作業したときは、電源を切る前に、「メインスイッチ④」を“1”にして、ホットエアガン本体を冷やしてください。
- ☞ 作業終了後の熱風放出ノズル①は大変熱くなっていますので、触らないでください。

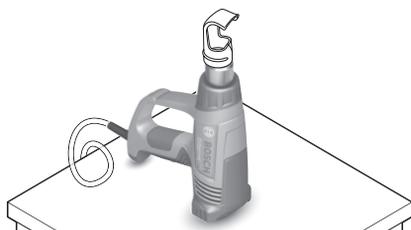
● 本体を立てて作業する



警告

◆ ホットエアガンを立てて作業するときは、熱くなったノズルや熱風でやけどしないよう特に注意してください。

両手を使って作業するときやホットエアガンを冷ますときは、ホットエアガンのディスプレイ⑤のある面を下にして、ノズルが上向きになるように置きます。



● 熱遮断カバーを取り外して作業する

特に狭いスペースで作業する場合は、熱遮断カバー②を取り外して使用することができます。



- ◆ 熱遮断カバー②を取り付けたり取り外したりするときは、「メインスイッチ④」を“切(0)”にしてください。
- ◆ 使用直後の熱風放出ノズル①は、たいへん熱くなっています。冷たくなってから取り外してください。
- ◆ 使用中は、熱風放出ノズル①に触れないよう注意してください。熱遮断カバー②を取り外して使用すると、やけどの危険が高まります。

取り外し

熱遮断カバー②を矢印の方向に回して取り外します。



取り付け

熱遮断カバー②の突起(2カ所)をホットエアガン本体の溝に合わせ、矢印の方向に回して取り付けます。

 軽く引いて、確実に取り付けられていることを確認してください。



使
い
方

別売アクセサリーを使う



警告

- ◆ 先端ノズルの交換は、熱風放出ノズル①や先端ノズルが冷えてから行ってください。やけどの原因になります。
- ◆ 先端ノズルを交換するときは、保護手袋を着用してください。
- ◆ 先端ノズルを交換するときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



温度設定は、材料の特性などにより異なります。

最適な温度は、初めにテストをして確かめてください。

テストは、低めの温度で、距離を離して始め、必要に応じて温度・風量・距離を調節してください。



ノズルと加工する材料の距離は、材質と作業方法により異なります。



作業列 **B** の「窓枠塗装のはく離」作業は、ガラスが割れる可能性があるため、アクセサリーを使用してください。

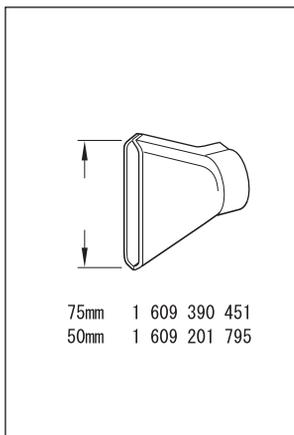
B の作業以外は、別売のアクセサリーなしでも行えます。しかし、別売アクセサリーを使用すると、作業が簡単になり、仕上がりの品質を高めます。

使
い
方

A 塗装のはく離/接着剤の軟化

先端ノズルを取り付けます。

熱風で塗装を柔らかくし、へらで均一に取り除きます。



あまり長く塗装を温めると、塗装が焼け、かえって取り除きにくくなります。



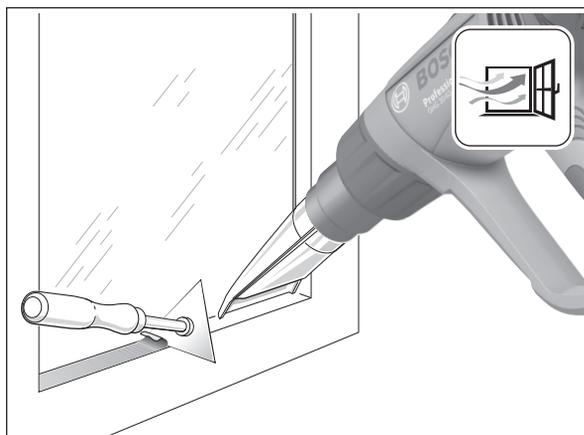
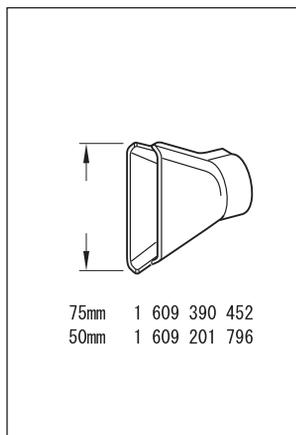
ほとんどの接着剤（ステッカーなど）は、温めると柔らかくなり、接着ボンドをはがせるようになったり、余分な接着剤を取り除くことができるようになります。

B 窓枠塗装のはく離

 **注意** ◆ ガラスの損壊に注意してください。

先端ノズルを取り付けます。

熱風で塗装を柔らかくし、へらか軟らかいワイヤブラシで取り除きます。



使
い
方

C 水道管の解冻



警告

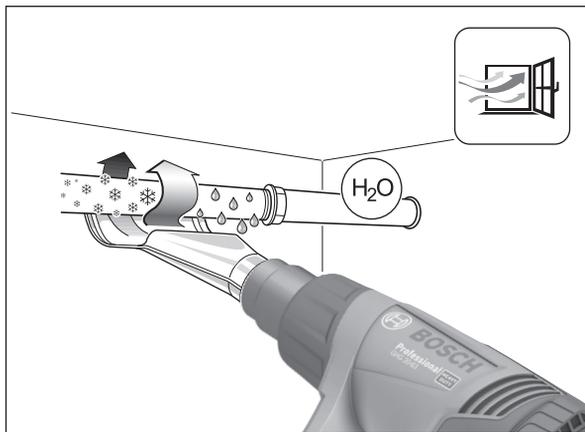
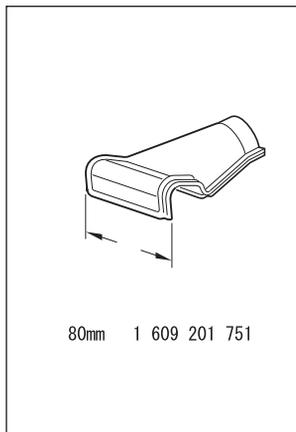
- ◆ 水道管はガス管と同じに見える場合があります。
ガス管は絶対に温めないでください。

先端ノズルを取り付けます。

凍結している部分を端から中央に向けて温めます。

- ☞ 水道管をつないでいるプラスチック管を損傷しないように、気をつけて温めてください。

使
い
方

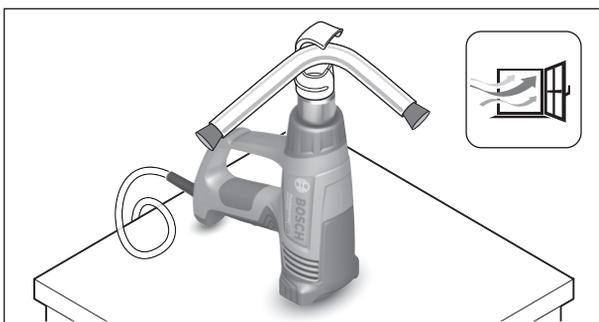


D プラスチック管の成形

先端ノズルを取り付けます。

プラスチック管が変形しないように、プラスチック管の中に砂を詰め、両端をふさぎます。

端から端まで動かし、均一に温めます。



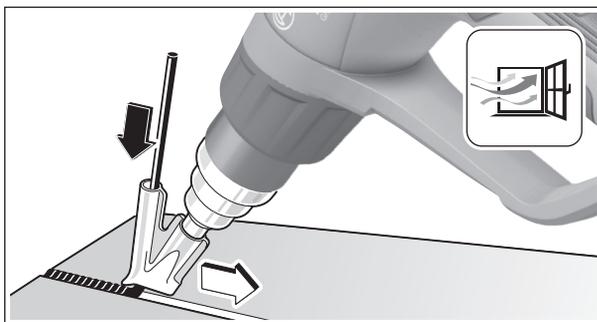
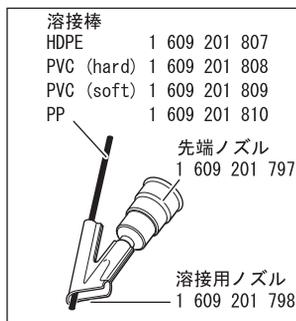
E プラスチックの溶接

先端ノズルと溶接用ノズルを取り付けます。

- ☞ 溶接する材料と溶接棒は、同じ材質にしてください。
- ☞ 継ぎ目はきれいにし、グリース等の付着がないようにしてください。
- ☞ プラスチックは柔らかくなってから液状になるまでの温度差がとても小さいので注意してください。

継ぎ目が柔らかくなるまで温めます。

継ぎ目が柔らかくなったら、溶接棒を差し込み、均等になるように、継ぎ目の溝に流し込みます。



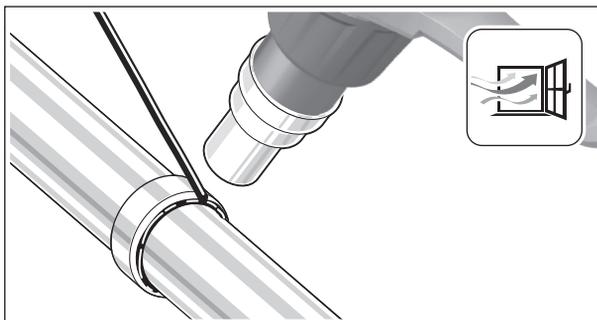
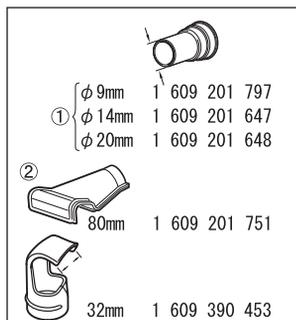
使
い
方

F はんだ付け

一点のはんだ付けには先端ノズル①を取り付け、パイプのはんだ付けには先端ノズル②を取り付けます。

溶剤付きでないはんだを使うときは、はんだ付けグリースやペーストをはんだ付け個所に塗ります。材料によっては 50～120 秒間はんだ付け個所を温め、はんだを当てます。

はんだは材料の温度で溶けます。はんだ付け個所が冷めたら溶剤を取り除きます。

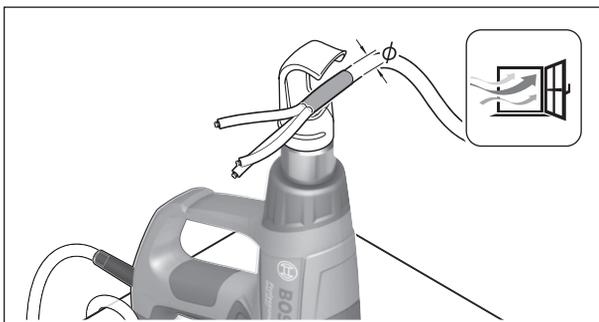
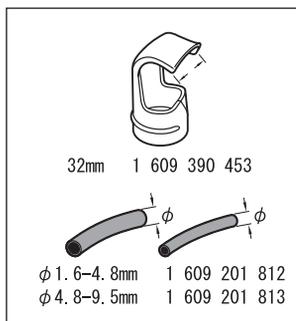


G 熱収縮プラスチック管の収縮

先端ノズルを取り付けます。

材料に適した直径の熱収縮プラスチック管を選び、材料を通します。

熱収縮プラスチック管が材料に密着するまで均等に加熱します。



困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ④」を“入”にしても風が吹き出さない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込む
	電源コードが断線している	修理を依頼する
	スイッチが故障している	修理を依頼する
ディスプレイ⑤が表示されない	作動温度範囲外である	作動温度範囲内で使用する
	ディスプレイ⑤が故障している	修理を依頼する

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様の使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

困ったときは

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪 1464 番地 4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管



警告

- ◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 本体を十分に冷ましてから行ってください。



クリーニング

- 通風口やノズルなどのゴミ、ホコリを取り除く
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保管

- ホットエアガンを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。

